

米沢富美子こども科学賞 受賞作品が決定

同賞は、子供たちの科学への興味を引き出し、個性と能力を伸ばすことを目的に、市制施行70周年記念事業の一環として、市出身の理論物理学者で慶應義塾大学名誉教授の米沢富美子さんとともに、平成22年度に創設しました。平成31年1月に米沢富美子さんが亡くなって以降も、遺志を継いで同賞を開催しています。

☎学校教育室(朝日町☎6155・8192FAX6155・8872)。

授賞式・作品発表会を行いました

7月に市内の小中学校の児童・生徒から夏休みの自由研究課題として作品を募集したところ、小学校から808点、中学校から250点の作品が集まりました。その中から各賞の受賞作品を決定し、授賞式を10月23日に千里山コミュニティセンターで実施しました。当日は子供たちによる作品の発表も行われました。



市長賞

「ぼくといしのなつやすみ」

土井幹也さん(江坂大池小学校1年)

川などで拾い集めた石についての研究。石を割って調べたり、専門家に質問をしたりすることで、種類や特徴が詳しくまとめられた作品です。



教育委員会賞

「ウサギの骨格について」

あらぎ 蘭ちえりさん(東山田小学校4年)

ウサギの骨格模型を針金や紙粘土などで作成。ヒトの骨格と比較することでウサギの生態を研究した作品です。



学校教育研究会賞

「セミのぬけがら調査」

高原宏彰さん(藤白台小学校4年)

公園で見つけたセミの抜けがらを調べ、数の変化やオスとメスの割合などを研究し、グラフなどでまとめた作品です。



科学奨励特別賞

「月の観察・宇宙について」

じゅんき 岡本樹希さん(吹田南小学校5年)

「まどをキレイにする方法 徹底調査」

にし の 西迺もえさん(千里第三小学校5年)

「すべり台のなぞをとき明かす」

あつき 間宮惇生さん(桃山台小学校3年)

ノーベル化学賞(2019年)受賞 吹田市名誉市民 吉野彰さんからメッセージ(抜粋)

受賞されたみなさんおめでとうございます。私も作品を拝見しました。非常に身近な題材をテーマに取り上げ、素朴な疑問を好奇心に基づいて深く掘り下げた内容に感心しました。

これからみなさんは勉強を重ねて、いずれ社会に出ていくことになります。社会人になってもこの素朴な疑問と好奇心を大事にしてください。それによりみなさんの夢が実現することになると思います。



受賞作品を一つ一つ見る吉野彰さん